

風土記の丘の花だより⁸⁷

今、そしてこれから見られる植物(2021年5月22日)

今年はこれまでになく早い梅雨入りだったそうです。よく降りますね。足元に注意して山歩きを楽しんでください。事後報告になりますが、今年は万葉植物園のエゴノキがとてもきれいに咲きました。(すでに散り果て) この花便り発行のちょうど谷間に満開を迎えました。紹介できなくて残念！！また来年のお楽しみですね。



今、ネジキの花がとてもきれいに咲いています。透明感のある白色です。ツツジの仲間ですが、よく見かけるツツジというよりも、釣り鐘型の花はドウダンツツジに似ています。樹皮を見ると捻っているように見えます。それで「捻木・ねじき」なのです。新芽が真っ赤なので、庭木や盆栽として楽しむ人もおられます。



谷山家の庭や、柳川家北側の歩道沿いでトウカンゾウが咲いています。私は「トウ」は「唐」のことかと思っていました。中国からの渡来したのかと思っていたのです。でもこのトウは「橙」のことで、柑橘類のダイダイのこととわかりました。確かに橙色ですね。この仲間では、これからヤブカンゾウ、ユウスゲ、少し遅れてノカンゾウの順で咲きます。



さて、3枚目の写真のどこに花が写っているでしょうか。そう見えますよね。じつは小さくて白く点々と見えるのが全部花です。この草はハナヌカススキ、名前からも分かるようにイネ科の雑草です。中央の階段のナツメなどが植えられている辺りに群生しています。草むしりが好きな方には、全く以てやっかいな草でしょうね。でも風情があるでしょ。(そんなに思うのは松下だけ?)



ヤブムラサキの花が万葉植物園で咲いています。ムラサキシキブに似ていますが、全体に毛深く、葉を指でつまむとすぐに分かります。花の周りも毛がいっぱいです。この山を歩いても、ムラサキシキブよりは少ないですが、注意していればあちらこちらで見つかります。秋には紫色の実ができます。松下